

8つのまちづくり8

人が主役の“ウォーカブル”なまち

池袋駅周辺を皮切りとして、まちを歩きながら、音楽・食・癒やし・学び・遊びなどを楽しむことができる、回遊性の高い、「ひと」が主役のまちを実現します。

まちや施設のバリアフリー対策を推進するとともに、地域の憩いの場・賑わいの場としての広場や公園をあわせて整備します。

回遊性のあるまちづくり

※（ ）内の事業進捗は、令和6年1月現在

東池袋一丁目地区▶
市街地再開発事業（事業中）



before

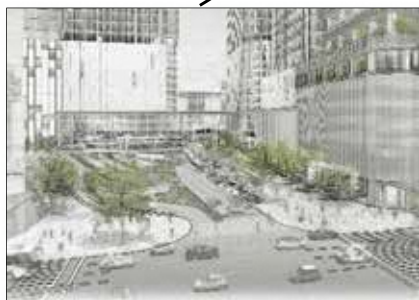


after



▲立教通り

無電柱化・一方通行化
環境モデル路線（工事中）



▲池袋駅西口地区
アゼリア通りの広場化
※イメージ



▲池袋駅上空「東西デッキ」
池袋駅の東西を繋ぐ
線路上空の歩行者動線 ※イメージ



▲グリーン大通り
池袋リビンググループ
エリアマネジメント（定期開催）



▼南池袋二丁目C地区
市街地再開発事業（工事中）



■ 池袋副都心再生推進事業

拡充

池袋駅を起点にまちの東西をつなぎ、回遊性を高めることを目的に、池袋駅周辺の将来像を描いた「（仮称）池袋駅コア整備方針」に基づき、具体的なまちづくり事業を展開するための計画を検討します。

- ・池袋駅西口地区での、再開発を通じた駅前再編の検討を進めます。
- ・池袋駅上空での、東西を繋ぐデッキの実現に向けた検討を進めます。

■ 池袋副都心交通戦略推進事業

過度に自動車に依存しない「人が主役」となる交通環境の実現を目指し、必要な調査や検討を行いつつ、関係者による協議、調整を実施します。

- ・池袋駅東口地区での、明治通りのクルドサク化とグリーン大通りの歩行者広場化に向けた検討を進めます。

■ 東池袋駅周辺まちづくり推進事業

東池袋駅周辺のまちづくりの将来像と優先的な取組を目的とした「東池袋駅周辺まちづくり方針」に基づき、公民連携によるまちづくりを推進します。

- ・主要な道路では、沿道の民有地や民間施設との連携により、歩行者空間を拡充し、安全で賑わいのある魅力的な“通り”を創出します。

■ ウォーカブルなまちづくり推進事業

池袋地区を中心とした「ウォーカブルなまちづくり」を推進するため、地域を主体とした取組の一つとして、「池袋エリアプラットフォーム」を支援します。

★企業や団体・学校等、多様な活動主体がエリアの将来像を共有する
「池袋エリアプラットフォーム」



▲勉強会やワークショップを開催



▲エリアプラットフォームの行動指針となる「池袋未来ビジョン」R6.3策定 ※イメージ



▲東池袋駅周辺

都市計画道路補助第175号線
※イメージ

[R6新規・拡充事業]

- ・ 継続 池袋駅東口街区再編まちづくり推進

バリアフリー

■ としまベンチプロジェクト 区民提案

町会や民生委員・児童委員、民間企業などとの連携により、まちなかに誰でも座れるベンチを設置し、高齢者などの移動を支援するとともに交流の機会を増やします。



■ 福祉のまちづくり ガイドマップの作成 新規

高齢者、障害者、乳幼児連れの方をはじめ、すべての方々が安心して外出できるよう、区内のバリアフリー情報を掲載したWeb版のマップを作成し、ホームページ上に公開します。

区内のバリアフリー状況を
わかりやすく公開



▲「福祉のまちづくりガイドマップ」イメージ

公園

■ 公園の日陰化 区民提案

区立公園や児童遊園に日よけなどを設置することで、夏季でも公園を有効に活用でき、ファミリーや高齢者も住みやすいまちづくりを進めます。



▲南大塚公園のよしず

■ 公園アドバイザーの活用 新規

身近にある公園や児童遊園を、子どもから大人までが楽しみ、憩える、区の特徴を生かした魅力ある空間にするため、専門家のアドバイスを受けながら、公園全体のプランや区民と一緒に考える公園づくりについて検討を進めます。

■ イケ・サンパークの 親水施設の改修 新規

近年の猛暑対策として親水施設を求める声があがっているため、イケ・サンパークの親水施設を噴水デッキに改修します。



▲事例：池袋西口公園の親水施設